

認知症疾患医療連携研修会 開催報告

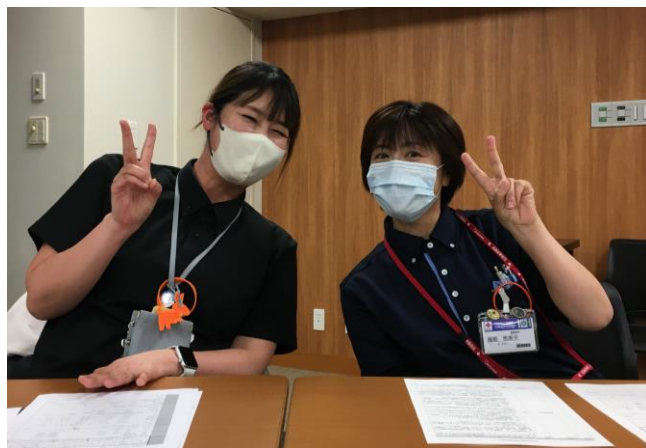
日時：令和6年10月4日（金）18:00～19:30

会場：北見赤十字病院 北館3階 大会議室

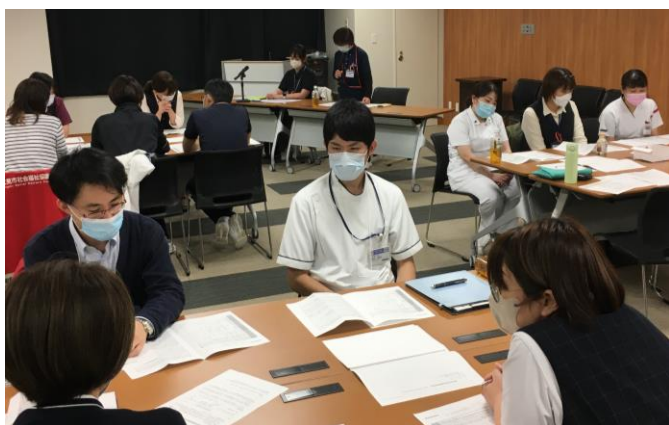
多職種事例検討会『人物誤認への支援』

当院にて集合形式の多職種事例検討会を開催いたしました。オホーツク管内の医療・介護・福祉に従事する関係者21名に参加していただきました。事例提供者の北見市高齢者相談支援センター南部の和泉佳奈氏と当院認知症疾患医療センター副室長の福島恵美子師長より事例の概要を説明し、4グループに分かれてグループディスカッションを実施しました。

グループディスカッションでは「人物誤認のある本人とその家族への支援について関係者は何ができるのか」を検討していただきました。それぞれの職種の強みを活かし、具体的な支援内容について各グループで活発に意見交換が行われました。その後、各グループより検討内容を発表してもらい、全体で共有しました。知識や社会資源の情報共有の場となり、相互の業務理解へ繋がる機会となりました。



終了後のアンケートでは、「様々な職種の方と意見交換ができて有意義な時間を過ごすことができました」「自分にはない視点からの意見をたくさん聞くことができて良かった」等の感想をいただきました。今回の事例を通して「家族へのサポートも大事だということ」を改めて知ることができた」「家族支援の考え方が参考になりました」と今後の業務へ繋がる学びとなりました。また、「本人より家族への支援が困難になってきたケースが改めて多くなってきたと思います」「本人の支援より家族の関わりが難しいのでいつも課題です」等の意見も多くあり家族支援の困難さが課題となっています。



次回の認知症疾患医療連携研修会は来年1月17日（金）に開催予定です。今年度最後の研修会となっております。ハイブリット形式にて「認知症地域支援推進員はどんなことをしている？～地域で安心して暮らし続けるために共にできること～」をテーマに実施いたします。多くの関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

（認知症疾患医療センター事務局 垂石記）